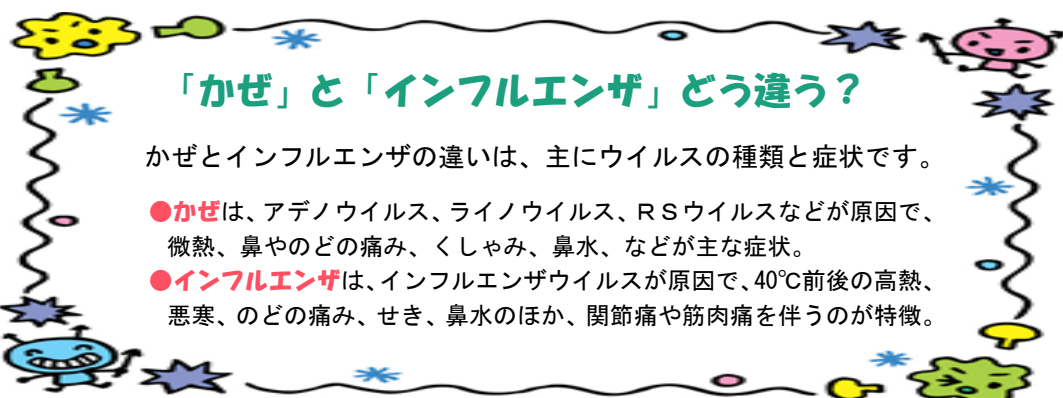




# ほけんだより

平成 31 年 1 月 虹のこころ保育園

本年は大変お世話になりました。保育園での保健衛生に関して、ご理解とご協力を頂きありがとうございました。近隣の幼稚園や小学校では、インフルエンザや感染性胃腸炎の流行が見られ、学級閉鎖が出ています。今後、保育園での流行が懸念されます。体調管理に気を配り、年末年始はご家族でゆっくり楽しい時間をお過ごしください。来年もどうぞよろしくお願い致します。



## 「かぜ」と「インフルエンザ」どう違う？

かぜとインフルエンザの違いは、主にウイルスの種類と症状です。

- かぜ**は、アデノウイルス、ライノウイルス、RSウイルスなどが原因で、微熱、鼻やのどの痛み、くしゃみ、鼻水、などが主な症状。
- インフルエンザ**は、インフルエンザウイルスが原因で、40℃前後の高熱、悪寒、のどの痛み、せき、鼻水のほか、関節痛や筋肉痛を伴うのが特徴。

## <感染症にかかるのは何故？>

この季節は、いろいろな感染症が流行しますが、感染症にかかる人と感染症にかからない人がいます。実は、感染症にかかるには、3つの要素が必要です。その3つの要素とは、いったいなんなのでしょう？

### 『感染の3要素』

①病原体②感染経路③個体の条件（抵抗力の低い宿主）

- ①病原体とは、主に細菌やウイルスです。
- ②感染経路は、飛沫感染・接触感染・空気感染などの感染の経路そのものです。
- ③個体の条件は、抵抗力の低い人ほど、より感染し発症しやすくなります。

☆これらの3要素が揃い、感染症が発生するメカニズムは、“感染の連鎖”と呼ばれています。感染症予防策の原則は、この連鎖を断ち切ることです。

☆予防対策の一例として、消毒や室温・温度の調整は病原体を現象させる目的で行います。お子様同士の接触を最小限にすることは、感染経路を断つ目的で行います。栄養・休養を十分に取って、抵抗力を高めることなどは、「個体の条件」を整えます。

☆保育園では、今後も引き続き3要素が揃わないように注意して、感染症の予防対策を取っていきますので、ご協力お願い致します。

## <当園の12月の感染症発生状況>

下記の疾患が保育園内で流行・発生しました。

- インフルエンザ A 型 ●溶連菌感染症 ●流行性角結膜炎
- 手足口病

### ～必要書類～

- 八千代市登園許可証明書 ○登園届
- ※感染が疑わしい場合は、早めの受診をお願い致します。



## <保育園での嘔吐物、便の取扱いについて>

この時期は毎年、「感染性胃腸炎」が流行します。園内で嘔吐物や便を洗うと、感染拡大の原因になります。厚生労働省のマニュアルに従い、園では洗わずにご家庭にお返しすることとなっております。お手数をおかけしますが、下記の内容にご協力とご理解をお願いします。

☆嘔吐物や便で汚れた衣類などは、洗わずにビニール袋に入れご家庭にお返しします。

☆汚れものを持ち帰った際、お子様が感染症にかかっていることが疑われる場合は、家庭内での感染を防ぐため消毒を行って下さい。

### ～消毒方法～

- ①はじめにマスク、ビニール手袋をつける。
- ②水洗いをし（手袋着用）、0.02%次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤）で30～60分つけ置きし、他のものと分けて洗う。洗い場も消毒する。  
※衣類が漂白されてしまう場合があります。
- ③次亜塩素酸を使用しない場合は、熱湯（85度以上）に1分以上浸ける。

## <お願い>

この季節は、感染症が流行する時期です。下記の内容にご協力をお願い致します。

- ・感染症に罹患した際は、園内での感染拡大を防ぐために保育園にご連絡下さい。
- ・体調の変化やお子様の様子がいつもと違う時は、登園の際にお伝え下さい。
- ・前日に発熱、嘔吐、下痢の症状がある場合、入園のしおりにあります『保育園登園基準とお迎え基準』を参考にして下さい。
- ・熱性痙攣、喘息、アレルギー症状等を発症した場合は必ず保育園にご連絡下さい。



## 1月の保健行事

### <身体測定>

- 8日 ひまわり・ゆり・ちゅうりっぷ組
- 15日 すみれ・あじさい・よつば組



### <頭髪検査>

7日・21日